

【神戸学院大学 防災女子】

備蓄をもっと身近に！プロジェクト ～家庭での食料備蓄に関する教材の開発・普及～

【事業内容】

■目的

- ・今後、必ず起こると言われている南海トラフ巨大地震で、大切な人のいのちを守ることができる家庭を増やすため、家庭での食料備蓄に関する防災教育教材を開発する。
- ・これまでの活動で培ってきた知識・工夫を盛り込み、教育現場だけでなく防災訓練などの短時間でも活用いただける体験型の教材を目指す。

■概要

対象：小学校低学年

形式：カード形式（補助教材：災害食に関する豆知識（PowerPoint データ）・手引書）

所要時間：45 分 ※小学校の授業時間に合わせる。ただし、時間短縮も可能。

完成セット数：20 セット

■教材の強み

（使用面）

- ・カード形式で取り組むことができるため、学校だけでなく地域などでも活用できる。
- ・火気の取り扱いが難しい場所でも、災害食のアレンジ方法を体験的に学ぶことができる。

（意識面）

- ・家庭で備蓄する食品をシミュレーションすることができ、家庭での備蓄の実践につながる。
- ・栄養バランスのとれた食事の意識の向上を図ることができる。

（知識面）

- ・イラストを用いた教材のため、漢字が読めないお子様も一緒に取り組んでもらうことができる。
- ・学んだことをもとに、家庭での備蓄の創意工夫につなげることができる。

【教材の紹介】 ※カードの一部を抜粋

三色食品群（赤）

三色食品群（赤）

三色食品群（黄）

三色食品群（緑）

+スペシャル

スペシャル

アイテム

<裏面>



<表面>

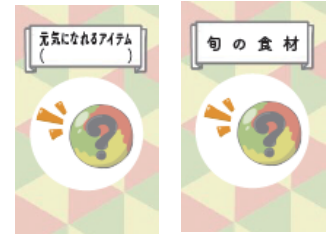


この教材の強みは、「栄養バランスに配慮した食料備蓄を知る」ことができること。

裏面に、日頃の活動で身についた、三色食品群の色（赤・黄・緑）と合わせて、スペシャル（ピンク）とアイテムカード（水色）、そしてスペシャルでも赤の栄養素をたくさん含んだカード（赤+ピンク）の6つの柄を設け、印刷しています。

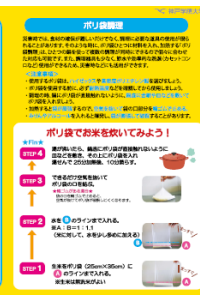


表面に描かれたイラストは、全てメンバーがiPadを用いて描いたイラストです。カードは1セット60枚。カードの中には、トランプでいうジョーカーの役割のカードも用意しました。※各家庭に合わせた備蓄、身近な旬の食材も知っていただけるように…。



【補助教材（災害食に関する豆知識）】

いつも活動で持参している「災害食 BOOK」の一部を抜粋して、授業を行うために必要な知識が書かれた資料を布製の紙に拡大印刷（協力：神戸学院大学 同窓生）し、黒板がないところでも活動を実施。



【教材開発のため試作品で情報を収集】

本教材を制作するにあたり、10月27日（日）に出展した「兵庫県広域防災センター実践デモ」において、試食対応の傍らで教材の試作品を用いて県民の意識について情報収集を行いました。

“避難所には備蓄があるでしょ？”
“災害が発生したら、行政が救援物資を送ってくれるから大丈夫！”

このような考えを持った方々が多くいるのだと実感。もっと、自分こととして考える場が必要であり、「いつでも・どこでも・手軽に伝える」教材を作ることが不可欠だと再認識しました。



【完成した教材で実践】

本教材が2020年1月末に完成し、2～3月の活動の中には必ずワークショップを盛り込むように、計画を立てていましたが、新型コロナウイルスの影響で、実践できたのは2月中の活動（5か所）のみとなりました。

（実施日時・場所）

- 2020年2月1日(土) 園田北小学校区まちづくり協議会ローリングストック料理教室
- 2020年2月3日(月) 京都府立久御山高等学校 出前授業（2年生2クラス）
- 2020年2月5日(水) 本多聞ふれあいのまちづくり協議会「防災クッキング」
- 2020年2月9日(日) 西宮青年会議所「西宮花火大会2020」
- 2020年2月16日(日) ブランチ学園都市「ぼうさいスーパーワークショップ」事前レクチャー



【参加者の声(一部抜粋)】

- 西宮で被災をしてからは、必ず非常時持ち出し袋を用意するようになった。今日のワークショップを体験して、すぐ持ち出せるように備えておく食料と、自宅避難を想定して備蓄しておく食料の二つを考えるようにしたいと思った。
- ローリングストック法という言葉は聞いたことがあったが、こんな身近なものを活用できるなんて…。具体的な食品を知れてよかった。
- 食品だけでなく、ひと手間調理するためのアイテム（カセットコンロ・ボンベなど）の備蓄も大切だと知った。ボンベ 1 本で約 1 時間使えることを知れてよかった。
- 冷凍野菜も災害時に活用できる食品であると知った。野菜の使い方・備蓄方法も考えていきたい。
- アルファ化米の存在を初めて知った。
- 三色食品群のことを、教材のカードを裏返して学ぶことができた。また、違う地域から参加したが、カードをめくりながら会話することができるので、はじめましての人たちでもすぐに打ち解けた。地域で活用してみたいと思った。

【活動を通して】

■制作で工夫した点

- カードに描かれている食品を、三色食品群の赤・黄・緑+ α にバランスよく分類して作ることができました。
※ただし、赤+スペシャルのカードの位置づけ、説明については今後改善の必要を感じています。
- イラストを使った教材は、誰が見ても分かりやすいようにシンプルなデザインにしました。

■実施結果

- イラストを用いたことで視覚的に分かりやすく、子どもも大人も楽しみながら取り組める教材となりました。
- 試作品を体験してくださった方からの意見をもとに、教材のより良い政策につなげることができました。
- 今後はこの一つの教材で、何通りもの授業展開が考えられることに気づきました。
今後の活動で改良版を作成し、学校現場や地域で活用してもらえる教材に作り上げていきたいと思えます。

■効果

- 多くの人に、食料備蓄や災害時の食について考えてもらえるきっかけになりました。
- 楽しみながら防災の新しい知識を学んでいただいたのと同時に、私たちの活動をより多くの方に知っていただくことができました。このつながりを今後の活動にも活かしていきたいと思えます。

以上